

# ムーアカデミー通信



Aichi Kaisho Forest Center News Letter Since 2007



日増しに大きくなるセミの  
声が夏を感じさせます。

湿地ではトンボたちが活発  
に飛び回っています。

写真:キイトンボ(左) 屋戸川の湿地(中央) オオシオカラトンボ(右)

## 特集 海上の森はいま

平成23年度あいち海上の森大学が開校しました  
 企業連携覚書を締結しました  
 海上の森でカモシカを確認

**この人!** 子供たちと自然に学ぶ 自然観察指導員 大谷敏和さん

情報ライブラリー図書を紹介します

### バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑

バッタ・コオロギ・キリギリスは何種類いるの? 鮮やかな標本図鑑で調べたい! 各部位のすみずみまで掲載された図鑑を見たい♪ 昆虫大好きなこどもから大人まで楽しめるバッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑を紹介します。

本書のみどころは他に例を見ないほどの紹介されている種数です。実に 477 種・亜種のバッタの仲間が紹介されています。実物と見まちがうくらいに写真がくっきりしており、さらに側面、背面、腹面といった様々な角度から調べることができます。

日本直翅類学会編 北海道大学出版会



## 特集 海上の森はいま



## あいち海上の森大学が開校しました



平成23年度期「あいち海上の森大学」が7月10日（日）に開校しました。

常設コースの森林再生コース、国際交流コースに加え、国際協力コースを新設し、全コース31名の入校生でスタートしました。5名の留学生を含め交流を深めながら多彩な講師陣により実践につながる講座が開催されます。

開校式の後、「森とともにある暮らし」と題し、NPO法人樹木・環境ネットワーク協会理事長の渋澤寿一氏の記念講演がありました。

「日本はかつて、森林や里山が人々の生活の場であり、豊かな森の恩恵を受け生活することができた。ところが、森林・里山との結びつきが希薄になり、お金に頼り生活するようになった。しかし、東日本大震災という悲劇に見舞われ、お金があってもモノを買えない（生活できない）状況を経験した。日本が歩んできた道は間違っていたかもしれない。過去へは戻れないが、今一度、森の重要性を再認識し、自分たちの暮らしを見直す必要がある」等、人と自然のかかわり、人と人のかかわりの大切さを考えさせられ、心に深く感じるお話をいただきました。

これからの新たな取組につながる開校式に相応しい講演会となりました。

入学生の皆さんが、無事修了され、御活躍されることを期待します。



## 企業連携覚書を締結しました

海上の森の企業連携プロジェクトとして、7社目となる小林クリエイト株式会社と平成23年6月11日に覚書を締結しました。

当日は、あいち海上の森センターで海上の森の概要や森林整備について学び、その後海上の森の活動場所の見学をしました。

これから3年間「ありがたいの輪プロジェクト 森林保全活動」として間伐等の人工林整備や、森林のはたらきや整備の必要性について学び活動していく予定です。



座学や現地見学する小林社長始め小林クリエイトの皆さん



## 海上の森でカモシカを確認

モニタリングサイト1000里地調査の哺乳類調査で、ニホンカモシカが、海上の森内に設置した自動撮影カメラに写りました。

かつて狩猟等により個体数が減少したカモシカですが、県内では昭和50年代に造林木への食害が報告されるようになるとともに、奥三河山間部から西や南に生息域を著しく広げてきました。

写真は今年5月から6月の間に撮影されたものですが、幼獣が写っていますので、近くに親がいたのではないかと思われ、また別に1歳くらいと考えられる子供も写っていることから、複数の個体がいることと繁殖の可能性も考えられます。今後の動向に注意していきたいと思えます。



カモシカ0歳幼獣



1歳くらいと考えられる子供

## この人！ 子供たちと自然に学ぶ 自然観察指導員 大谷 敏和さん

私が海上の森と出会ったのは、38年前の猿投山までの遠足がきっかけでした。海上の森を通して猿投山まで歩く道中年配の先生から「ここは・・・がたくさんあってね・・・」といろいろ教えてもらったことを今も覚えています。また瀬戸市内の先生たちで作る瀬戸市理科研究会に所属し、地域の詳しい人の指導で植物調査にもよく出かけた場所でした。研究会の標本整理を任せられ夏休みは毎年整理に追われていました。地域の人と一緒に活動する中で自然観察指導員になることを勧められ定光寺で定例自然観察会を17年前から行っています。海上の森は愛知県主催の講座のお手伝いをしたり、「海上の森 自然観察ガイドブック」編集にも関わりよく歩いた場所です。

森に囲まれた学校に勤めていた時は学校の隣にある森へ子どもたちをよく連れて行きました。木登りをしたり、森からの水で米作りをしたり、子どもとビオトープを造ったりしていることを

林野庁主催の万博プレイベントのシンポジウムや森林環境教育全国大会でパネラーとして発表の機会も与えられました。今も子どもたちと校区内である海上の森で川遊びをしたり、学校のビオトープの生き物観察をしています。

植物にしても動物にしてもその場所にいる理由があります。お百姓さんは、お米を作るために働いています。美しい景色にするために働いていませんが、結果的に美しい田園風景と多くの生き物を育てています。生き物を人との関わりで見るとは里山を知る上でとても大切なことです。海上の森ではどうでしょうか？今まで目を向けてもらえなかった生き物にも目を向け、私たちの未来の生き様を考えたいものだと思います。

**プロフィール** 愛知県自然観察指導員理事、尾張自然観察会副会長、定光寺自然観察会代表などを務める。「海上の森 自然観察ガイドブック」編集委員をしていた。瀬戸市幡山東小学校講師。



### センター職員の随想ルー

## かたりべのひと言

この4月に4年振りの海上の森センター勤務となった。ウッドデッキはややくたびれ、万博で移設したコナラの木は遅くなって、どんぐりを拾って育てたコナラやアベマキも大きく育っていた。

先日、瀬戸市内の小学校が校外学習にやってきました。せっかく、海上の森センターに来てくれたので、森を歩いてもらうことにした。暑い中をただ歩くだけでは芸がないと思い、「フィールドビンゴ」をしながら歩いた。数字のかわりに、「とげとげの葉っぱ」「水の音」「鳥の鳴き声」「とんぼ」「くさいにおい」などの項目を書いておき、見つけたら○をつけて、列がそろったら「ビンゴ！」である。子ども達は、暑い中でもへっちゃらで、次々にビンゴする。みんないい顔で帰って行った。やっぱり海上はおもしろい。(H.K)



## 森のなかま

### スズメバチ

ハチの中でも特に危険とされるスズメバチは、「森のなかま」と呼ぶのにふさわしくないかもしれませんが、昆虫などの捕食者として自然界でのバランスを支える大切な森の一員です。また、海上の森でも見られるタカ的一种ハチクマの好物でもあります。

海上の森では、小形のキイロスズメバチ、日本最大で他のスズメバチの巣を襲撃することもあるオオスズメバチ（襲撃された巣がセンター内に展示されています）、そして他のスズメバチの巣を乗っ取って子育てをするチャイロスズメバチなど、様々なスズメバチが見られます。

森を歩く時は、ハチに襲われたり、刺されたりしないように、黒っぽい服を避け、帽子、長ズボンを着用し、香水などにおいのするものは避けてください。ハチが近づいてきても、手で払う等の急な動きをしないようにしましょう。



# 展示の目玉

## 「愛知県のキノコ」の展示

展示室では、調査学習会（キノコ）講師の木村修司さんが製作された、愛知県のキノコの標本展示を行っています。内容を変更しながら11月頃まで続ける予定です。8月半ばまでは虫を養分として育つキノコ・冬虫夏草（とうちゅうかそう）菌を展示しています。

キノコといっても、外見も生活も様々です。食べられるかどうかだけではない、キノコの奥深い世界をのぞいてみませんか？



# その他のお知らせ

## 熱中症に注意！！

夏本番となり、非常に暑い日が続くようになってきました。熱中症は、気温・湿度が高く、風のないときや日差しが強いときに起こりやすくなります。十分注意してください。

散策の際には無理をせずに、休憩をこまめに取り、意識して塩分や水分を補給してください。睡眠を十分とり、通気性、透湿性のある服を着用することも大切です。

海上の森には飲み物の販売はありませんので、十分な飲み物を準備して散策してください。

# 参加者募集



体験学習プログラム	開催日	定員	募集期間
☆ 森の教室 —森の自然探検「森のきこり体験しよう」—	10/10(祝)	30名	8/10-9/26
☆ 調査学習会 —海上の森の秋のキノコ—	10/16(日)	50名	8/16-10/2
☆ 森の教室 —豊かな森づくり「人工林の間伐作業実践」—	10/23(日)	30名	8/23-10/9
☆ 調査学習会 —海上の森の秋の植物—	11/3(祝)	30名	9/3-10/20
☆ 森の教室 —里の森「雑木林と竹やぶの手入れ体験」—	11/6(日)	30名	9/6-10/23
♪ 森の楽校 —コロコロ恵みの森でのんびり時間— ※同時開催：「森のようちえん」 幼児と保護者対象	11/13(日)	30名 20組	9/13-10/30
☆ 森の教室 —森の中で「間伐材活用のテーブルづくり」—	12/4(日)	30名	10/4-11/20
♪ 森の楽校 —ふかふか冬の森てらん会— ※同時開催：「森のようちえん」 幼児と保護者対象	12/4(日)	30名 20組	10/4-11/20

対象：小学生以上、小学生は保護者同伴

### 《応募方法》

官製はがき、FAXまたはE-mailに ①参加希望プログラム名 ②住所 ③氏名 ④電話番号を記入し、申込期限（当日消印有効）までに下記の申込先へお申し込み下さい。申込多数の場合は、抽選により決定し結果を通知します。

### 《申込み、問い合わせ先》

☆印のイベント… NPO法人 海上の森の会（〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1 「あいち海上の森センター」内  
「海上の森の会」事務局 TEL/FAX: 0561-21-9298、E-mail: morinokai2004@kxa.biglobe.ne.jp）

♪印のイベント… あいち海上の森センター（〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1

TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841 E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp）

## 予告!! 「第5回人と自然の共生国際フォーラム」10月15日(土)開催予定

場 所 地球市民交流センター（愛・地球博記念公園内）

テーマ 持続可能な社会を目指して、理念から行動へ、今変わる時

～暮らし、生き方を語り直し、見つめ直す～

\* 詳細が決まり次第ホームページ等でお知らせします。

### 編集後記

例年よりも早く梅雨が明け、日差しの下にすることがつらいほどの暑い日が早くから続いています。2階情報ライブラリー前のゴーヤやアサガオは緑のカーテンらしく大きく育ち、涼しげに見えます。

編集・発行 あいち海上の森センター（ムーアカデミー）

発行日 平成23年8月4日

〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1

TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841

E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp

URL: <http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>

